



水痘と高齢者肺炎球菌 予防接種

問い合わせ 健康増進課
(TEL 893・6405)

26年10月から、水痘（水ぼうそう）と高齢者肺炎球菌予防接種が、定期接種となります。

■水痘（水ぼうそう）
水痘・帯状疱疹ウイルスの初感染によって引き起こされる感染症です。感染力が強く、5歳までに約80%の子どものかかるといわれています。

対象年齢 1歳～3歳の誕生日の前日まで

接種回数 2回（3か月以上の間隔をあける）

経過措置対象者 3歳～5歳までに1回接種（ただし、26年度に限る）

高齢者肺炎球菌対象者（※1）	65歳	昭和24年4月2日～ 昭和25年4月1日生まれ
	70歳	昭和19年4月2日～ 昭和20年4月1日生まれ
	75歳	昭和14年4月2日～ 昭和15年4月1日生まれ
	80歳	昭和9年4月2日～ 昭和10年4月1日生まれ
	85歳	昭和4年4月2日～ 昭和5年4月1日生まれ
	90歳	大正13年4月2日～ 大正14年4月1日生まれ
	95歳	大正8年4月2日～ 大正9年4月1日生まれ
	100歳	大正3年4月2日～ 大正4年4月1日生まれ
	101歳以上	大正3年4月1日以前生まれ

※すでに水痘にかかった人は、対象外です。

※すでに接種を受けた場合は、接種した回数分の接種を受けたものとみなします（経過措置対象者も含む）。

■高齢者肺炎球菌
肺炎の原因となる細菌やウイルスは、体や日常生活の中に存在しており、さまざまな種類があります。

その中でも重症化しやすいものが肺炎球菌です。

①26年度に、65・70・75・80・85・90・95・100歳・対象者

101歳以上になる人（※1）

②接種時点で60歳から64歳の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障がい、身体障がい者手帳1級の人

※過去に、肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことのない人が対象です。

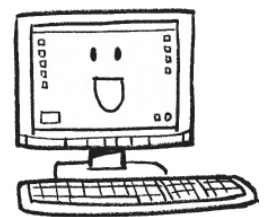
接種回数 1回

※その他、費用などの詳細は、10月号の「広報かたの」やホームページでお知らせします。

消費者相談

～苦情多発！遠隔操作による
プロバイダの乗り換え～

問い合わせ 消費生活センター（ゆうゆうセンター1階、TEL 891・5003）



パソコン操作ができるようになりま。

Q 「プロバイダを乗り換えれば、料金が安くなる」と勧められました。

A 「手続きは簡単。遠隔操作するから」とパソコンを立ち上げて、次の電話を待つように言われました。信用できるでしょうか。

A 自分のパソコン操作を業者に任せ、プロバイダ変更の手続きと設定を業者が行う「遠隔操作」の苦情が増えていきます。業者の指示に従い、ソフトをダウンロードして表示された文字を教えると、業者は離れた場所から

突然の電話で、「プロバイダを乗り換えれば、料金が安くなる」と勧められました。2年間の契約期間中に解約すると違約金が生じるなどのトラブルが起きています。

助言

遠隔操作を許すと、業者はパソコンの情報を見たり、自由に操ることができるようになります。例えると、自分の家の鍵を渡すようなものです。

また、この契約では、クーリング・オフ（無条件解除）の適用がありません。あいまいな返事をすることは避け、必要がなければ断りましょう。